

ディプロマ・ポリシー（卒業・修了認定の方針）

本科においては、各学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程により、定められた項目及び所定の単位を修得した学生に卒業を認定する。

専攻科においては、専攻科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程により、定められた知識や能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に修了を認定する。

（商船学科）

物流の国際化と船舶の技術革新に適応した船舶の運航技術者として活躍できる専門知識と技術を習得した人材および海事関連産業で活躍できる人材を育成する。

（A）人間性豊かな教養人となること

（A1）豊かな教養

一般教養に関わる科目の習得を通じて豊かな教養を身につけ、地球的視点から物事を多面的に理解することができるようになる。

（A2）健全な心身

学習活動における自主的・継続的な取り組みを通じて、責任感と柔軟性を養うとともに、自分の身体および精神の健康管理ができるようになる。

（B）創造性豊かな技術者となること

（B1）技術者としての倫理観

技術が社会および自然に及ぼす影響・効果に関する理解力や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚できるようになる。

（B2）技術者として必要な基礎知識

商船学（航海・機関）分野において基盤となる数学、物理、化学、電気・電子、航海・機関、計測・制御等に関する基礎学力とそれらに関連分野において活用できるようになる。

（B3）技術者としての専門知識

船舶の安全運航に関する分野の基礎を理解し、自主的に実験、解析、考察できるようになる。

（B4）技術者としての創造力

基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探究し、組み立て、解決できるようになる。

（B5）社会に貢献できるデザイン能力

地域との交流や連携に努め、科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザインができるようになる。

（C）国際性豊かな社会人となること

（C1）記述力とプレゼンテーション及びディベート能力

正しい情報や自分の意見を他者へ伝えるために、論理的な記述力、プレゼンテーション及びディベートできるようになる。

（C2）チームワーク力

協働の際に、自分のすべき行動を判断し実行するとともに、互いの価値観を尊重し、チームとしての目標達成に寄与できるようになる。

(C3) 国際コミュニケーション能力

英語をはじめとする様々な方法を用いて、情報や意見をやり取りできる国際コミュニケーションができるようになる。

(C4) 異文化理解

日本文化について正しい知識を身につけるとともに、積極的に国際交流に努め、多様な価値観や国際文化を理解する。

(電子機械工学科)

機械技術と電子技術および情報技術を融合した電子機械（メカトロニクス）に関する専門知識と技術を身に付けた実践的技術者を育成する。

(A) 人間性豊かな教養人となること

(A1) 豊かな教養

一般教養に関わる科目の習得を通じて豊かな教養を身につけ、地球的視点から物事を多面的に理解できるようになる。

(A2) 健全な心身

学習活動における自主的・継続的な取り組みを通じて、責任感と柔軟性を養うとともに、自分の身体および精神の健康管理に務めることができる。

(B) 創造性豊かな技術者となること

(B1) 技術者としての倫理観

技術が社会および自然に及ぼす影響・効果に関する理解力や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚する能力をもつ。

(B2) 技術者として必要な基礎知識

電子機械工学分野において基盤となる数学、物理、化学、電気・電子、機械、電力、計測・制御等に関する基礎学力とそれらに関連分野において活用できるようになる。

(B3) 技術者としての専門知識

ロボットなどの機械と電機・電子制御の技術を融合したシステムに関する分野の基礎を理解し、自主的に実験、解析、考察できるようになる。

(B4) 技術者としての創造力

基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探究し、組み立て、解決できるようになる。

(B5) 社会に貢献できるデザイン能力

地域との交流や連携に努め、科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザインができるようになる。

(C) 国際性豊かな社会人となること

(C1) 記述力とプレゼンテーション及びディベート能力

正しい情報や自分の意見を他者へ伝えるために、論理的な記述力、プレゼンテーション及

びディベートできるようになる。

(C2) チームワーク力

協働の際に、自分のすべき行動を判断し実行するとともに、互いの価値観を尊重し、チームとしての目標達成に寄与できるようになる。

(C3) 国際コミュニケーション能力

英語をはじめとする様々な方法を用いて、情報や意見をやり取りできる国際コミュニケーションができるようになる。

(C4) 異文化理解

日本文化について正しい知識を身につけるとともに、積極的に国際交流に努め、多様な価値観や国際文化を理解できるようになる。

(制御情報工学科)

制御情報工学（情報応用システム・組み込みシステムに関する工学）における実践的技術者としての専門知識と技術を身に付ける。

(A) 人間性豊かな教養人となること

(A1) 豊かな教養

一般教養に関わる科目の習得を通じて豊かな教養を身につけ、地球的視点から物事を多面的に理解できるようになる。

(A2) 健全で頑強な心身

課外活動における自主的・継続的な取り組みを通じて、責任感と柔軟性を養うとともに、自分の身体および精神の健康管理ができるようになる。

(B) 創造性豊かな技術者となること

(B1) 技術者としての倫理観

技術が社会および自然に及ぼす影響・効果に関する理解力や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚できるようになる。

(B2) 技術者として必要な基礎知識

制御情報工学（情報応用システム・組み込みシステムに関する工学）分野において基盤となる数学、物理、化学、電気・電子、情報、通信、計測・制御等に関する基礎学力とそれらに関連分野において活用できるようになる。

(B3) 技術者としての専門知識

電気電子と情報の技術を融合したシステムに関する分野の基礎を理解し、自主的に実験、解析、考察できるようになる。

(B4) 技術者としての創造力

基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し、組み立て、解決できるようになる。

(B5) 社会に貢献できるデザイン能力

地域との交流や連携に努め、科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザインができるようになる。

(C) 国際性豊かな社会人となること

(C1) 記述力とプレゼンテーション及びディベート能力

正しい情報や自分の意見を他者へ伝えるために、論理的な記述力、プレゼンテーション及びディベートができるようになる。

(C2) チームワーク力

協働の際に、自分のすべき行動を判断し実行するとともに、互いの価値観を尊重し、チームとしての目標達成に寄与できるようになる。

(C3) 国際コミュニケーション能力

英語をはじめとする様々な方法を用いて、情報や意見をやり取りできる国際コミュニケーションができるようになる。

(C4) 異文化理解

日本文化について正しい知識を身につけるとともに、積極的に国際交流に努め、多様な価値観や国際文化を理解できるようになる。

(情報機械システム工学科)

情報機械システム工学科は、情報工学、電気電子工学、機械工学を基盤とし、学生自身の個性に応じたカリキュラムを選択することで、地域に貢献し日本の産業を支える実践的技術者としての専門知識・技術を身に付けることを目標とする。

(A) 人間性豊かな教養人となること

(A1) 豊かな教養

一般教養に関わる科目の習得を通じて豊かな教養を身につけ、地球的視点から物事を多面的に理解できるようになる。

(A2) 健全で頑強な心身

課外活動における自主的・継続的な取り組みを通じて、責任感と柔軟性を養うとともに、自分の身体および精神の健康管理ができるようになる。

(B) 創造性豊かな技術者となること

(B1) 技術者としての倫理観

技術が社会および自然に及ぼす影響・効果に関する理解力や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚できるようになる。

(B2) 技術者として必要な基礎知識

情報・電気電子・機械工学分野において基盤となる数学、物理、化学、電気・電子、情報、通信、計測・制御、力学、設計・製図、加工等に関する基礎学力とそれらに関連分野において活用できるようになる。

(B3) 技術者としての専門知識

情報、電気電子、機械の技術を組み合わせて動作するシステムの基礎を理解し、自主的に実験、解析、考察できるようになる。

(B4) 技術者としての創造力

基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決。

(B5) 社会に貢献できるデザイン能力

地域との交流や連携に努め、科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザインができるようになる。

(C) 国際性豊かな社会人となること

(C1) 記述力とプレゼンテーション及びディベート能力

正しい情報や自分の意見を他者へ伝えるために、論理的な記述力、プレゼンテーション及びディベートができるようになる。

(C2) チームワーク力

協働の際に、自分のすべき行動を判断し実行するとともに、互いの価値観を尊重し、チームとしての目標達成に寄与できるようになる。

(C3) 国際コミュニケーション能力

英語をはじめとする様々な方法を用いて、情報や意見をやり取りできる国際コミュニケーションができるようになる。

(C4) 異文化理解

日本文化について正しい知識を身につけるとともに、積極的に国際交流に努め、多様な価値観や国際文化を理解できるようになる。

(専攻科)

本校の専攻科は以下に示す到達目標を掲げ、さらに各専攻においても特色ある教育目標を掲げています。定められた能力を身に付けた学生に修了を認定します。

- A) 専門分野におけるより高度な開発・創造能力を持った技術者となること
 - 1. 専門分野に関連する分野に関しての基礎知識と応用技術を修得する
 - 2. 専門分野に関しての基礎知識と応用技術を修得する
 - 3. 専門分野における創造的製作能力を修得する
- B) 複合的視点から物事を考え解決する能力を持った技術者となること
 - 1. 複合視点のもとで、現実に生活している地域社会の諸問題を明確化する能力を修得する

2. 技術者としての社会貢献と責任について考える能力を修得する
 3. 課題解決のための計画を設定し、計画を遂行する能力を修得する
- C) 国際的な感覚を持ち自律した技術者となること
1. 英語など外国語の読解能力，およびコミュニケーション能力を修得する
 2. 論理的な記述，口頭発表，討議を行う能力を修得する
 3. 生涯にわたって学び続ける力，主体的に考える能力を修得する